

【キャセイグループ】 2026 年中間決算を発表

サマリー

- ✓ 2026 年上半期に 62 億香港ドルの利益を計上、普通株式 1 株当たり 26 香港セントの中間配当を実施
- ✓ 機材や客室、ラウンジ、デジタル分野への投資として約 1,500 億香港ドルを確保
- ✓ 市場環境が良好であることを前提に、今後 10 年間で 150 機の新たな機材を導入し、就航都市数 150 都市を目指す



キャセイグループ（以下、「キャセイ」）は 8 月 5 日、2026 年中間期決算を発表しました。

航空会社、子会社および関連会社を含むキャセイグループの 2026 年上半期の親会社株主に帰属する利益は 62 億香港ドルとなり、2025 年上半期の 37 億香港ドルから増加しました。

このうち、航空会社および子会社による 2026 年上半期の親会社株主に帰属する利益は 49 億香港ドルとなり、2025 年上半期の 38 億香港ドルから増加しました。関連会社の業績は、2026 年上半期で 4 億 1,000 万香港ドルの利益となり、2025 年上半期の 1 億 8,100 万香港ドルの損失から改善しました。なお、関連会社の業績は主に会計上 3 か月遅れで計上されています。

なお、2026 年上半期の親会社株主に帰属する利益には、10 億香港ドルの一時的な利益が含まれています。これは主として、グループが保有する中国国際航空株式の持分比率の希薄化に伴い、約 14 億香港ドルのみなし一部売却益を計上したことによるものです。

当期の業績を受け、普通株主に対する第1回中間配当として、1株当たり26香港セント（配当総額：16億香港ドル）の配当を実施することを決定しました。これは、2025年の第1回中間配当と比較して、普通株1株当たりの配当額が30%増となるものです。

長期的な成長に向けた投資を継続し、お客様体験のさらなる向上へ

キャセイは、長期的な成長を推進するとともに、お客様に提供する体験価値を高め、香港を拠点とするネットワークの接続性をさらに強化するため、継続的な投資を行っています。その一環として、空と地上の両面でサービスの充実を図っています。

キャセイパシフィックは、受賞歴を誇る「アリア・スイート」をはじめ、新しいプレミアム・エコノミーおよび刷新されたエコノミークラスへの改修を、ボーイング777-300ER型機に順次導入しています。また、2026年末までには、リージョナル路線向けエアバスA330型機において、新たなビジネスクラス「アリア・スタジオ」および新たなエコノミークラスを導入する予定です。

既存の客室プロダクトについても継続的な改良に取り組んでおり、エアバスA321neo型機のエコノミークラスでは、一部座席を削減することで、よりゆとりのある足元スペースの提供を順次進めています。

地上サービスにおいては、今年初めに香港の旗艦ラウンジ「ザ・ウィング」ファーストクラスラウンジをリニューアルオープンしました。また、現在改修が進められているニューヨークのジョン・F・ケネディ国際空港第6ターミナルへの移転に伴い、キャセイパシフィック初となるニューヨークのラウンジを今年後半に開設する予定です。

2027年には、香港の「ザ・ウィング」ビジネスクラスラウンジおよび東京（成田）のキャセイパシフィック・ラウンジにおいて、刷新されたラウンジ体験を提供する予定です。

キャセイカーゴは、今後の成長戦略を支えるため、貨物機材の拡充を進めています。エアバスA350F貨物機の発注数を8機へ増加したほか、エアホンコン向けにA330P2F改造貨物機1機のリース契約を締結しました。同機は主にキャセイカーゴの貨物輸送サービスに活用される予定です。

キャセイグループ会長 ガイ・ブラッドリーのコメント

キャセイグループは、2026年上半期において力強い業績を達成しました。キャセイパシフィックおよびキャセイカーゴに対する堅調な需要が継続したことに加え、香港エクスプレスの業績改善や関連会社からの利益貢献の拡大が、グループ全体の業績を押し上げました。また、2025年上半期と比較して、旅客数・貨物取扱量ともに増加し、運航便数も拡大しました。

第1四半期は好調なスタートを切りましたが、第2四半期には中東情勢の影響を受け、ジェット燃料価格が大幅に上昇するなど、より厳しい事業環境に直面しました。その結果、第2四半期の燃料コストは第1四半期の約2倍となりました。このような状況下においても上半期を通じて堅調な業績を達成できたことは、近年、当グループが築いてきた事業基盤の強靱性を示すものです。

当社はこれまでに、機材、客室、ラウンジサービス、デジタルイノベーションの分野において、約1,500億香港ドルの投資を決定しています。これらの投資は、長期的な事業成長への取り組みを示すものであり、香港の国際航空ハブとしての発展に貢献するとともに、キャセイおよび香港全体にさらなる成長機会をもたらすものです。

今後10年間では、市場環境が良好に推移することを前提に、150機の新たな機材の保有に加え、就航都市数150都市を目指します。これらの新たな機材は、成長計画を支える輸送能力の拡大に貢献するとともに、香港を拠点とするネットワークの接続性向上にも寄与するものです。



キャセイグループの 2026 年中間業績は[こちら](#)からご覧いただけます。

【キャセイについて】

キャセイは旅と日常を合わせてワンランク上の体験を提供するプレミアム・トラベル・ライフスタイル・ブランドです。フライト、ホテル、ショッピング、ダイニング、ウェルネス、ペイメントなど幅広い分野にわたってサービスを提供しています。また、キャセイパシフィックは今年で創立 80 周年を迎える香港のフラッグキャリアで、ワンワールド・アライアンスの創立メンバーです。キャセーカーゴとともに世界中にネットワークを広げ、プレミアムなフライトを提供しています。キャセイグループは、ローコストキャリアの香港エクスプレス航空、貨物専門航空会社のエアホンコン、その他多くの子会社で構成されています。

キャセイパシフィックは日本からは東京（成田、羽田）、大阪、名古屋、福岡、札幌の 5 都市 6 空港から香港へ毎日 18 便以上、エアバス A350-900/1000、A330、ボーイング 777 などの機材で運航しています。

キャセイパシフィック航空ウェブサイト：https://www.cathaypacific.com/cx/ja_JP.html

公式 Facebook: https://www.facebook.com/cathaypacific/?locale=ja_JP

公式 LINE：<https://lin.ee/gSwA0GH>

本件に関するお問い合わせ：

『キャセイパシフィック航空』広報代理店 アビアレップス株式会社 担当：松浦、紺野
TEL：(03) 6261-5733 / FAX：(03) 6261-5944 / E-Mail: CathayPacificPR.jp@aviareps.com